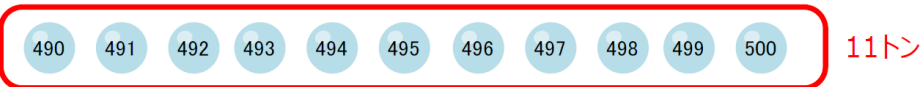


総量指定方式と、シリアル番号指定方式の違いについて

クレジットは**1トン単位**で、固有のシリアル番号が振られて管理されています。

左記の例で、口座上の頂番【1】では【JC-400-000-001-928-490】～【JC-400-000-001-928-500】と、11トンのクレジットを保有しています。（イメージはこちら↓）

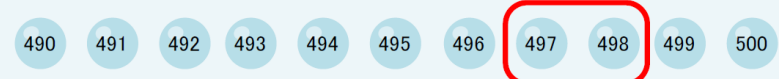


残高照会結果表示

口座番号 JP-100-20000-00001-00000-00
 法人名 AAA株式会社
 保有クレジット残高(t-CO₂) XX.XXX

項番	制度記号及びクレジット特定番号					クレジット量 (t-CO ₂)
	制度記号	クレジット種別	発行約定期間	適用約定期間	省エネルギー係数	クレジット認証番号
1	JC-400-000-001-928-490 ~ JC-400-000-001-928-500					11
2	JC	KC	01	01		1234567
	JP-000-000-000-000-000 ~ JP-000-000-000-000-000					X.XXX
3	JP	JVR	01	01		1234567
	KC-000-000-000-000-100 ~ KC-000-000-000-000-200					X.XXX
	KC	KC	01	01		1234567

シリアル番号指定方式とは、このうち任意のシリアル番号を指定して使う方式です。



↑例えばこの**2トン**を指定して使う方式。

総量指定方式とは、「シリアル番号」にはこだわらずにクレジットを使う方式です。

クレジット認証番号と、使う**トン数**を指定することで、自動的に小さいシリアル番号から使われます。



↑この枠内から**2トン**使うという方式。

注: 上記の数値は例示として架空のものとしています。

